

体験型イベント「水産研究所ギョギョっとツアー」 を始めました

水産研究所では今年度から、「水産研究所ギョギョっとツアー」と題して、主に小学生とその保護者を対象とした体験型イベントを実施しています。地魚の消費拡大および水産業や瀬戸内海で生じている諸問題への理解の醸成を目的に、「開かれた研究所」を目指して始めた試みです。

記念すべき第1回目は、「クロダイの中のタイを探せ!」というタイトルで、8月に実施しました（内容の詳細は前号（2024年2月22日）を参照）。続く第2回目は10月に「海辺の生き物観察」として、水産研究所に隣接する磯場で生き物探しをして生物相の豊かさを実感しました（写真1）。第3回目は12月に、生ノリから自分の手で板ノリを作る「ノリスき体験」をしました（写真2）。イベントでは、できるだけ「楽しく」

「五感で感じられる」内容を心掛けていますが、貧栄養やクロダイによる食害といった諸問題についても触れています。地道な取組かもしれませんが、水産業が抱える問題の解決に向けて、次世代を担う子供たちとの交流は大変意義があることで、来年度以降も継続して実施する予定としています。

この4月には「おさかな学習室」がリニューアルオープンします（写真3、4）。明るい雰囲気で見やすいイラストで分かりやすい展示内容へと生まれ変わります。体験型イベントの拠点施設としても期待されており、「水産研究所ギョギョっとツアー」をはじめ、水産研究所の視察見学受入の際に活用していくこととしています。（海面・内水面増殖研究室：竹本）



写真1 海辺の生き物観察



写真3 おさかな学習室



写真2 ノリスき体験



写真4 おさかな学習室に設置される魚の移動販売車のパネル